

古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」

パイプオルガン

PIPE ORGAN

クリスマスコンサート

出演者一覧

こばやし ひで ゆき

小林 英之 パイプオルガン

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。ドイツ、フランクフルト音楽大学卒業。各地での独奏会のほか、アンサンブルへの参加も多い。オーケストラでオルガン・パートを担当し、神奈川フィル、アンサンブル金沢、東京シティフィル、N響、新日フィル、東京都響、読響の定期演奏会には、ソリストとして出演。

また、東京芸術劇場をはじめ各地のホールでオルガン関連事業の企画を担当するほか、中学生、高校生あるいは一般愛好家を対象としたオルガンに関する啓発活動を行っている。東京芸術劇場オルガニスト。



ほんだ けい すけ

本多 啓佑 オーボエ

福島県郡山市出身。郡山市立緑ヶ丘中にてオーボエを始める。東京藝術大学附属高、東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。日本音楽コンクール、大阪国際室内楽コンクール等に入賞。ローム・ミュージック・ファンデーション及びペーレンベルク財団の奨学金を得てハンブルク音楽大学大学院に留学。現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席オーボエ奏者、アンサンブル・ミクストメンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。

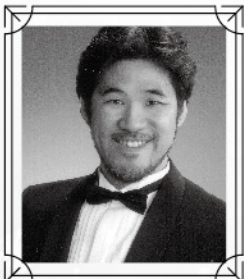


いま お しげる

今尾 滋 テノール

早稲田大学法学部卒業後東京藝術大学大学院博士課程を修了。博士号取得。ブダベスト国際声楽コンクール2位。バリトンとして活動した後、『ヴァルキューレ』のジークムントでテノールとして再デビュー。その後『神々の黄昏』のジークフリート『フィデリオ』のフロレス

タン『サロメ』のヘロデ王等を歌う。ルネ・コロ氏のマスタークラス参加時には往年の名テノールから絶賛された。福島大学教授。東京藝術大学及び国立音楽大学非常勤講師。サントリーホール・オペラアカデミー、コーチングファカルティ。



あべ え み こ

阿部 絵美子 ソプラノ

福島女子高校を経て宮城学院女子大学音楽科卒業、研究生修了。読売並びに日演連新人演奏会、イタリア文化会館主催オペラコンサート等出演。「蝶々夫人」蝶々夫人、「フィガロの結婚」伯爵夫人等。ベルゴレージ「スタバトマートル」、ベートーヴェン「第九」ソリスト等。

イタリア・トリエステでオペラマスタークラス受講、修了演奏会出演。08年大阪国際コンクール声楽部門入選。声楽を千田ふみ、鈴木知、滝沢三重子、菅野宏昭、R・レードリヤ、M・クリスチャック各氏に師事。福島市在住。



古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」

パイプオルガン	オーボエ	テノール	ソプラノ	ヴァイオリン		
小林 英之	本多 啓佑	今尾 滋	阿部 絵美子	中村 千鶴	伊藤 光敦	戸村 実咲
				河野 美紀子	渡邊 拓真	
				高木 早紀	伊藤 美紀	
ヴィオラ	チェロ	コントラバス	チェンバロ	ライブラリアン		
齋藤 恭太	八島 珠子	河原田 潤	村木 洋子	小林 直央		
橋本 侑里映	大槻 玲香					

古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」芸術監督

福島市生まれ。東京藝術大学音楽部附属高校及び大学卒業。

1964年5月東京文化会館小ホールにて、日本史上で二人目のコントラバスソロリサイタル開催。同年7月渡辺暁雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団と日本人で最初のコントラバス協奏曲を演奏(フジテレビネットワークより全国へ放送される)。

1966年フルブライト奨学生として渡米。ニューヨーク市ジュリアード音楽院博士課程にて学ぶ。1967年レオポルド・ストコフスキー指揮アメリカン交響楽団副主席、1969年メトロポリタン・オペラ・オーケストラ準団員、1971年～1977年ニューヨーク・シティ・オペラ・オーケストラ正団員。1975年、ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ精力的に紹介。1986年、福島女子短期大学教授就任。1996年、福島女子短期大学学長就任(2001年3月まで ※現福島学院大学)、文部科学省大学設置審議会音楽専門委員会(主査)、文部科学省中央教育審議会(中教審)芸術部門専門委員、文化庁海外派遣研修員選考委員会(座長)を歴任。

現在、福島市音楽文化総合アドバイザー、ミュージック・フロム・ジャパン理事長兼芸術監督、音楽による福島まち造り実行委員会委員長、一般財団法人桜ヶ丘病院理事を兼務。

三浦 尚之



photo:Yuhka Miura

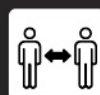
新型コロナウイルス対策の実施



消毒の徹底



マスク着用の徹底



身体的距離の確保